



ほっぺ通信



気になることがあっても、「もう少し様子を見てみようか…」と一人で不安を抱えたり、誰にも相談できない状態にありませんか？子どもさんの特性や行動を理解し、対応を考えるヒントを見つけるために、丸亀市発達障害児支援協働事業は丸亀市幼保運営課と、NPO法人グランマールが協働し、発達障害児支援窓口ほっぺや、市内保育所～中学校で巡回カウンセリングを行っています。ほっぺ通信では保護者への相談や、保育士・教員の先生方の相談や研修もおこなっている、臨床心理士等専門相談員の子育てコラムを順番にお届けします。裏面は事業のご案内等を掲載しています。

お問い合わせ・申し込み

NPO法人 **グランマール**

丸亀市発達障害児支援協働事業 **ほっぺ**

ひまわりセンター2階 9:00~12:00
13:00~16:00

☎ (0877)85-6613 FAX (0877)85-6614

✉ npochiiki@yahoo.co.jp 🌐 <https://hoppe-marugame.com/>



遊びの中で育む

目が合いにくい、指さしをあまりしない、遊びが広がらない。子どものそんな姿に、不安を感じる保護者の方は少なくないと思います。けれども、それはやりとりの土台がこれから育っていく途中なのかもしれません。

『共同注意』という言葉を目にしたことがありますか？『同じものを一緒に見る』『楽しいを共有する』力のことです。例えば、飛行機を見て「見て！」と指さす。おもちゃを持ち上げて大人の顔を見る。笑いながら視線を送る。こうしたやりとりが積み重なることで、言葉や社会性の発達が支えられていきます。目が合わない、指さしをしない、遊びが広がらないなどの背景には、こうした共同注意の育ちにくさがある場合があります。人への関心が薄い傾向が、共同注意の学びにくさや、獲得のしにくさにつながっていると考えられています。だからこそ、楽しい遊びの中で、そのような力を身につける機会を設けていけるといいですね。

遊びは、大人主導ではなく、『これがやりたい』という子どもの気持ちに寄り添い、子どもの遊びの世界に大人が入っていくことが大切です。では、どのように入っていくのがよいのでしょうか。一つは、子どもの動作や発声に共感する声掛けをしながら、子どものそばで動作や発声などを大人が真似をすることで（例：積み木で音を鳴らしていたら、同じように積み木で音を鳴らす）。子どもがしている遊びをそばで大人が楽しそうに展開することで、きっと子どもは「何だろう？」と気になって興味を示します。

また、大人が子どもの興味のあるおもちゃを使って遊んで見せることもよいでしょう。子どもの興味のあるおもちゃを大人が操作するという『子ども』『おもちゃ』『大人』という三項を作る遊び（三項関係の遊び）です。大人が、子どもが好きなおもちゃを扱うことで、おもちゃへの関心を大人にも向けてもらうアプローチ方法です。

大人主導ではなく、子どもの遊びの世界（子どもの好きなものの世界）に大人が入っていくことで、安心して遊びが継続できる、一緒に遊んだらもっと楽しいと感じられる経験を重ねていけることが大切です。

体全体を使った遊びも楽しんでできると考えられます。毛布で揺れる遊びや、くすぐり遊び、お馬さんごっこなど、大人と一緒にできない遊びを選んで、あえて声が出るような楽しい場面を作ってあげることがいいでしょう。子どもが楽しい顔をしたら「楽しいね！」と声を掛け、もう1回と要求（視線を合わせる、指を立てるなど）できたら褒めて、しっかりと要求を叶えてあげることが大切です。楽しさを共有する、感情を分かち合うことが、やりとりの土台になります。目が合うこと、指さしが増えること、遊びが広がること、それは結果であって、目的ではありません。子どもが安心できる環境、安心できる関係性の中で、遊びを通して『伝えたい気持ち』『楽しさを共有できる喜び』を育てていけたらいいなと思います。

臨床心理士
公認心理師

ほそかわ まい
細川 麻衣



NPO法人グランマールの活動理念に賛同していただき、継続して寄付をいただいています。

- 富士産業株式会社
- 大倉工業株式会社
- 四国化成ホールディングス株式会社
- 株式会社伏見製薬所
- 琴参バス株式会社



ぴあ・ほっぺ
すきっぷの予約は

ほっぺホームページの
メールフォームから
お申込みください。



ま〜る
の予約は

☎ (0877) 85-6613へ
お申込みください。

事業 予約制

ぴあ・ほっぺ

発達障がいや発達が気になる
子どもの保護者のための場

開催 毎週月・火曜日
10:00~12:00
13:00~15:00
毎週木曜日
10:00~12:00

発達障がいの子どもを育てている
親同士だからこそ分かち合えるそ
の実感が、力になります。
本の貸し出しもしています。

方法 来所、Zoom、電話 **来所時のみ
参加費 100円** (お茶代)
ホームページカレンダーに空き状況をのせています。

すきっぷ

発達障がいのある子どもの
保護者のグループ相談

参加人数 定員7人 相談時間 10:00~12:00

相談方法 臨床心理士等専門家をコーディネーターに
対面でグループ相談

参加費 100円 (お茶代)

- R8年 5/25月 0~18歳までの子どもの保護者対象
- 6/16火 思春期 (小学生高学年~高校生) の子どもの保護者対象
- 6/29月 0~18歳までの子どもの保護者対象
- 7/ 5日 子どもの父親対象
- 7/14火 乳幼児 (就学前まで) の子どもの保護者対象
- ※8/10月 青年期 (高校卒業後) の子どもの保護者対象
- 9/ 7月 思春期 (小学生高学年~高校生) の子どもの保護者対象
- 9/28月 0~18歳までの子どもの保護者対象

※青年期すきっぷは、子どもさんが18歳までにほっぺ事業を利用された保護者の方が参加できます。

ま〜る

臨床心理士等
相談員との個別相談

来所・Zoom または電話で相談
を実施しています。
詳しくはチラシ・ホームページを
ご参照ください。

相談時間 50分

相談料 無料

対象:丸亀市在住の方

●来所相談
予約日時少し前に、ひまわりセンター2Fほっぺに来てください。
相談場所に移動していただきます。ご案内いたします。

●Zoom相談
ホームページに「Zoom相談をされる方へ」を
掲載していますのでご覧ください。
<https://hoppe-marugame.com/>



●電話相談
「仕事が終わって向かっていたら間に合わない
けれど、仕事終了時に車の中から電話で相談でき、
助かった。」などの声をよく耳にします。
※電話相談はこちらから電話をかけます。

「ほっぺ」では、メール登録されている方に、行事予定やお知らせを
を一斉メールで送っています。登録していても届かない方は、
お手数ですが、ご連絡ください。
Instagram にも行事予定やお知らせを掲載し
ていますので、こちらもご覧ください。スタッ
フのコラムも掲載しています。



フォーラム・シンポジウムはメールかFAXでお申し込みください。
e-mail: npochiiki@yahoo.co.jp FAX (0877) 85-6614

フォーラムのお知らせ

日時 R8年 9/5土 10:00~12:00

場所 ひまわりセンター 参加費 無料

講師 ●瀬戸内ナーシング学院学校長・博士 (医学)・
臨床心理士・公認心理師 岡田倫代先生
●四国こどもとおとなの医療センター 成育こころの診療部長・
児童精神科医長 中土井芳弘先生

テーマなど詳細は決まり次第、ほっぺホームページにアップします。
ご確認ください。



シンポジウムのお知らせ

日時 R8年 11/8日 10:00~12:00

場所 ひまわりセンター 参加費 無料

講師 ●NPO法人グランマール理事長・
四国学院大学名誉教授 大木祐治先生
●臨床心理士・公認心理師 熊谷由紀先生
●臨床心理士・公認心理師 小林雅代先生

テーマなど詳細は決まり次第、ほっぺホームページにアップします。
ご確認ください。



〜スタッフのつぶやき〜

子どもが小さかった頃の私へ

ママ友が子どもと会話しているのが羨ましかったね。
みんなが遊んでいる中に入らなくて、我が道を行く子を追いかけ、やっと戻った時にはもう誰もいなくな
って辛かったね。
同じ服しか着られなくて、何着も同じ服買ってたね。
多くの人とは違う子育てのこと、誰かに聞いてほしいと思ってたよね。
大丈夫。
子どもは、あなたの必死の子育てにに応じてくれるよ。優しい言葉で話し、少ないけれど友だちもいる。
自立もして、自分でお気に入りの服も買うようになるよ。
あなたは、ほっぺで同じ悩みを持つ保護者の方と出会って、支え合い生きています。だから諦めないでね。

※来訪する方の中に、発熱・咳などの症状がある時。
※お子さんが通う園、学校等が学級閉鎖になっている時。(電話相談に切り替え可能です)
※インフルエンザについては、発症した後5日を経過、かつ解熱 (37度以下) した後2日 (幼児
にあつては3日) を経過するまで。(学校保健安全法施行規則第19条より)
コロナウイルスについては、発症の翌日から5日間を経過、かつ症状が軽くなってから1日経
過するまで。(文部科学省の省令改正より)

感染症予防 について

来所相談を希望されている方で上記にあてはまる場合は、来所をお控えください。

Zoom相談や電話相談に切り替えることもできます。

キャンセルされる場合は、新たに予約をお取りします。ご連絡ください。

「子育てを支える専門家から
子どもを育てているみなさんへ」
を作成しています。ご覧ください。



「発達障害のある子どもと
保護者のための情報BOOK」
を作成しています。ご覧ください。

